

インドで天候保険を発売

～東京海上のノウハウを活用して開発、インド損保現地法人が販売～

株式会社ミレアホールディングス(社長 石原 邦夫)傘下のインド損保現地法人IFFCO-TOKIO General Insurance Co. Ltd.(以下 ITGI 社)は、今月よりインドで天候保険を販売いたします。同保険はインドの農家向けに干ばつによる収入減少リスクを担保するもので、ITGI 社が今般、インド保険監督当局から認可を取得いたしました。初年度は4つの州で販売を開始し、今後、販売地域を順次拡大していく予定です。

干ばつによる収入減少リスクを担保、インド農家の生活安定に寄与

インドは国土面積の50%以上を農地が占めており、就業人口の約6割が農業に従事している農業大国です。しかしながら、灌漑などが普及していない地域も多く、毎年の穀物収穫高はその年の気象に大きく影響されます。特に深刻なのは干ばつであり、大規模な干ばつに見舞われると農家の収入は大幅に減少し、家畜・土地等の資産を手放す必要に迫られるなど、生活上の大きな不安要素となっています。

今回開発した天候保険は、モンスーン期間中(6月～9月)に干ばつが発生した場合、その度合いに応じて一定額を補償する内容で、インドの農家の生活安定に寄与する商品です。

東京海上の経験とノウハウを活用して開発

今回の天候保険の開発に当たってはインドにおける過去100年間以上の膨大な気象データから干ばつの発生確率などを算出する必要があり、こうした面で、本邦での天候デリバティブ販売や天候データの解析等に関する東京海上火災保険株式会社および東京海上フィナンシャルソリューションズ証券会社の豊富な実績とノウハウを活用いたしました。

インド現地法人 ITGI 社が、合併パートナーの拠点網を活用して販売

天候保険の販売は、ミレアグループ傘下のインド損保現地法人である ITGI 社が、初年度はインドの4つの州(アンドラ・プラデッシュ州、グジャラート州、カルナータカ州、マハラシュートラ州)で開始し、今後、販売地域を順次拡大していく予定です。ITGI社に出資している合併パートナーIFFCO社はインド最大の肥料公社ですが、同社が全国に有する約36,000の組合物流の拠点網も活用し、農村部への天候保険の普及を推進します。

< IFFCO-TOKIO General Insurance Co. Ltd.社 (ITGI社)の概要 >

- 本社 :インド国ハリアナ州グルガオン (ニューデリー 郊外)
- 社長 :Mr. Ajit Narain
- 資本金 :10 億ルピー(約 26 億円)
- 出資者 :ミレアアジア26% (26%は外資出資規制の上限)
IFFCO(Indian Farmers Fertilizer Cooperative Ltd.) 51 %
KRIHBCO(Krishak Bharati Cooperative Ltd.) 20 %
IPL(Indian Potash Ltd.) 3 %
- 従業員数 :正社員 234 名
- 拠点数 :26 拠点
- 2003 年度事業成績 :
収入保険料 3,230 百万ルピー(約 84 億円、前年比 151%)
経常利益 150 百万ルピー(約 3.9 億円)

< 東京海上フィナンシャルソリューションズ証券会社の概要 >

- 社長 :吉川 孝志
- 資本金 :4,712 百万円
- 出資者 :東京海上火災保険 100 %
- 従業員数 :45 名
- 業務内容 :デリバティブ商品の開発、販売等
- 格付 :AA - (S&P), Aa2 (Moody 's), AA + (R&I)